



＜平成万句合＞本格的始動

川柳が興って 250 年の今年、発祥の地・台東区では、街中に川柳が浸透している。

現在、初代川柳が居住していた浅草地区では、1 月の東京東信用金庫・三筋支店、3 月からはじまった合羽橋中央通り公西会商店街の〈平成万句合〉募集とフラッグによる川柳 250 年の飾り付けに続いて西浅草郵便局、台東千束郵便局で台東川柳人連盟による川柳展が行われている。

また、初期川柳作家の中心的地域であり、また、『誹風柳多留』の版元、花屋久次郎の店があった上野地区では、住友信託銀行・上野支店と谷中・世界湯において、同じく台東川柳人連盟による川柳展が行われている。

窓口業務の待ち時間に、風呂上りのくつろいだ時間に川柳を楽しみ、にやりとしているところを見ると、川柳を展示する苦労は一気に吹き飛ぶ。

人間社会の一場面を切り取った川柳のユーモアは、別に川柳を嗜むことがなくても、共感を誘っている。

これらの展示は、場所と内容を変えながら「川柳イヤー」と位置づけた今年いっぱい、各地各所で行われる。

川柳 250 年の行事は、発祥の地・台東区を中心に多くの団体・企業に後援され、盛り上がってきた。



＜平成万句合＞取次
 かつば橋本通り商店街では
 テプコ浅草館（右）ほか、
 各所に投句のポストが設置
 され、すでに多くの句が集
 まり始めた。



西浅草郵便局

次々と広がる
 台東区内の
 川柳作品展
 郵便局で、
 銀行で、
 銭湯で、
 そして、駅で…

台東区某所

街で出会えば
 川柳 250年と
 平成万句合の話題

かつば橋本通り
 の薬局屋さん

＜主なご後援・ご協賛＞

文化庁、東京都、台東区、台東区教育委員会、江戸東京博物館、たばこと塩の博物館、北海道文学館、東京新聞、台東区民新聞社、台東ケーブルテレビ、月刊「浅草」、川柳新聞社、雄山閣、新葉館出版、オリックス㈱、バイエル薬品㈱、スナック・フード㈱、サッポロビール、読売日本テレビ文化センター、朝日カルチャーセンター、朝日信用金庫、㈱新聞編集センター

東京合羽橋商店街振興組合、かつば橋本通り公西会商店会、文化事務用品、テプコ浅草館、浅草ビューホテル、浅草松屋、天台宗龍宝寺、浅草観光連盟、下谷観光連名、からくさ彫刻学苑、栄久堂、鮎金、合羽ばし喜久館、青龍舎、たから紙工、浅草酒販連合会、浅草菊屋橋飲食業組合、東京東信用金庫三筋支店、ときめきたいとうフェスタ推進委員会、住友信託銀行上野支店、玄武堂企画、

全日本川柳協会、川柳学会、日本川柳ペンクラブ、北海道川柳連名、新潟川柳連名、台東川柳人連名、静岡県川柳協会、兵庫県川柳協会、ほろほろ忌川柳俳句会、「川柳公論」、川柳宮城野社、川柳美すど吟社、東葛川柳会、中の島川柳会、川柳くろがね吟社。「川柳マガジン」ほか各団体、各社様